

野田駅(JR環状線)

真宗21人の殉教と野田藤発祥の地をめぐる

玉川駅(地下鉄千日前線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.056

JR野田駅

①野田城跡伝承地

石山合戦のころ(1570年代)、三好一族と本願寺がこのあたりの野田城に立て籠もって信長軍と戦いました。いま、城跡は皆無ですが、城之内、弓場といった地名が明治の初めまで残っていました。



②極楽寺本願寺

第10世証如上人が布教活動中に襲われ、地元の門徒宗が命がけでかくまった争いで21人が殉教しました。その菩提を弔う浄土真宗大谷派の野田御坊です。

③野田恵美須神社

このあたりが開拓されたときに、地元にあった恵比須神を勧請したのが起源だとされています。周辺は難波八十島といわれる淀川の河口部で、漁業が盛んに営まれ、漁業の神として恵比須神が信仰されてきました。



④円満寺

証如上人を守るために殉教した21人の門徒宗の菩提のために、久左衛門というものが証如上人より教圓という名を与えられて、この寺を建てました。境内には証如上人が与えた感謝の文書と供養碑があります。

⑤天神社

菅原道真が左遷されるときに当社に参拝して海路の無事を祈ったと伝えられています。そのときこのあたりは「鹿飢島(餓鬼島)」と呼ばれていましたが、地元の人々の厚い好意に応じて菅公が「福島」という名を与えたとされます。福島天満宮を上の天神というのに対して、天神社は下の天神と呼ばれます。

⑥下福島公園(藤庵の庭)

かつて大日本紡績(現・ユニチカ)の主力工場であった福島工場跡地に建設されました。ここには文禄3年(1594)に秀吉が藤を鑑賞して茶会を開いたとされる藤庵の庭が再現されています。こ

のとき秀吉が休息した茶店・藤亭で彫らせた額「藤庵」が、いまでも地元の庄屋・藤家に伝わっています。

⑦野田の藤跡(春日神社)

このあたりの砂州に藤が根づいて野田藤といわれるほど有名になりました。鎌倉時代には「難波かた野田の細江を見渡せば藤波かかる花のうきはし」(西園寺公経)と詠まれ、後には秀吉も藤見の茶会を開きました。「吉野の桜、野田の藤、高尾の紅葉」とうたわれた藤は、各所に伝わって、宇和島の「天赦園」、福岡県の「中山の大藤」などの名所を生みました。春日神社に「のだふじ資料館」があります。

⑧二十一人討死の碑
(玉川コミュニティセンター)

証如上人を守るために討ち死にした門徒宗21人の碑です。玉川地区には4基の碑があり、これは西野田青年団が生漕橋の西側に建てたものを玉川コミュニティセンターに移設したものです。

JR野田駅

